



電動荷台昇降キット

2011 年度以降の Workman1® MD/MDX/MDX-D 作業車用

モデル番号07381-シリアル番号 312000001 以上

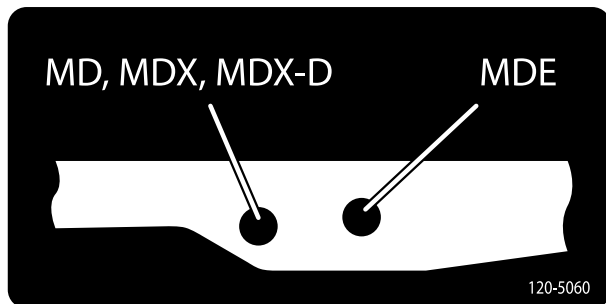
取り付け要領

安全について

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。読めなくなったものは必ず新しいものに貼り替えてください。



120-5060

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行います。
2	昇降ブラケット, 上 十字平頭ねじ (3/8 x 2-1/2 inches) フランジ・ロックナット (Whiz lock) (3/8 インチ) 昇降アクチュエータ クレビス・ピン ヘアピン・コッター	1 4 4 1 1 1	荷台昇降部を取付けます。
3	スイッチ サーマルヒューズ(15 A) クレビス・ピン(3-1/2 インチ) ヘアピン・コッター	1 1 1 1	スイッチを取り付けます

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。駐車ブレーキを掛け、キーをOFFにして抜き取る。

▲ 警告

始動キーをつけたままにしておくと、誰でもいつでも車両を始動させることができ、危険である。

整備・調整作業の前には必ず始動キーを抜いておくこと。

2. 荷台の右側または左側でレバーを引き上げ、荷台を持ち上げる（図 1）

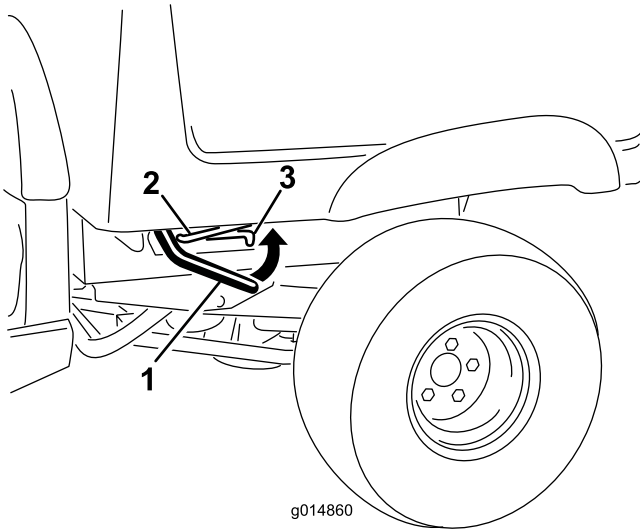


図 1

1. レバー
2. プロップロッド
3. ロック位置(スロット)

▲ 警告

上昇させた荷台が万一落下すると、荷台の下にいる人に非常に危険である。

- ・ 荷台の下で作業する時は、必ず支持棒で荷台を支えておく。
- ・ 荷台の下で作業するときは荷台を空にし、必ず安全サポートで固定する。

4. ラッチ・ロッド・ブラケットを荷台の裏側に固定しているフランジ・ナット（4本）を外す（図 2）。ロッドとラッチは捨てないこと。各キャリッジ・ボルトはそのまま穴に残し、フランジ・ナットで荷台に再固定する。

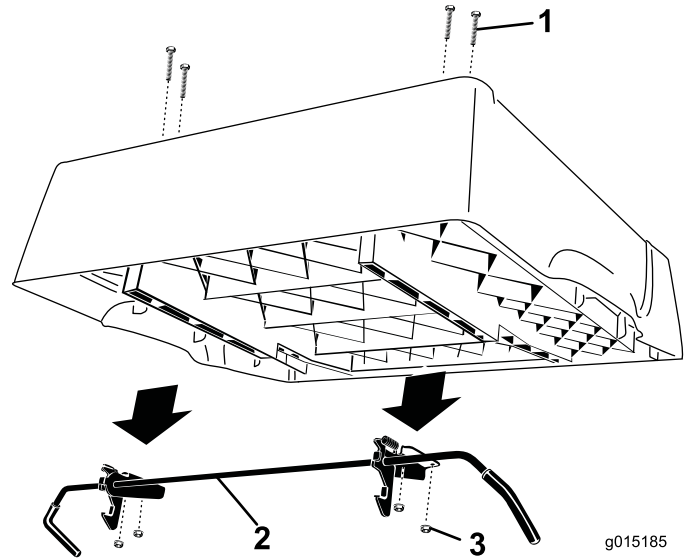


図 2

1. キャリッジ・ボルト: 荷台に残す
2. ラッチ・ロッド
3. フランジ・ナット

3. プロップロッドを固定スロットにはめ込んで荷台を固定する（図 1）。

2

荷台昇降部を取付ける

この作業に必要なパーツ

1	昇降ブラケット, 上
4	十字平頭ねじ (3/8 x 2-1/2 inches)
4	フランジ・ロックナット (Whiz lock) (3/8 インチ)
1	昇降アクチュエータ
1	クレビス・ピン
1	ヘアピン・コッター

手順

1. 荷台の右側の裏側にあるボス (4ヶ所) を探し出す (図 3)。3/8 インチ (9.5 mm) のドリル・ビットを使って、ボスから荷台表面まで、4 つの貫通口を注意深く開ける。

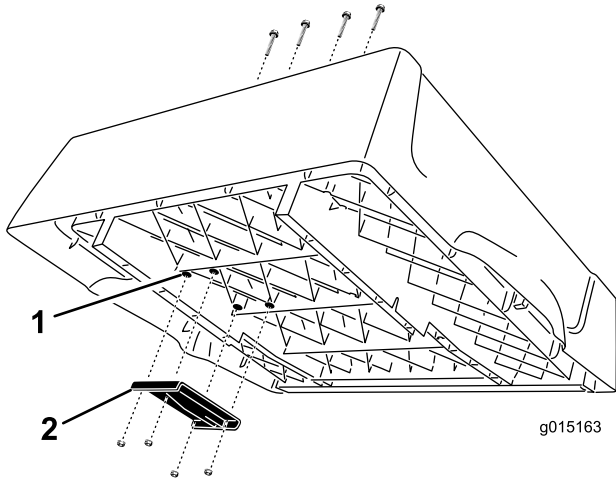


図 3

1. ボス
2. 上側昇降ブラケット

2. 荷台の裏側に、上側昇降ブラケットを取り付ける；十字平頭ねじ (3/8 x 2-1/2 inches) (4本) とフランジ・ロックナット (Whiz lock) (3/8 インチ) を使用する。ブラケットは図 3 のように組み付ける。
3. ナットを 200 in-lb (22.6 N·m=2.3 kg·m) にトルク締めする。
4. 車両のフレームについている取り付けアームを探し出す。取り付けアームに昇降アクチュエータを取り付ける。クレビスピン (2-1/4

インチ) とヘアピンコッターを使って昇降シリンダを 図 4 のように固定する。

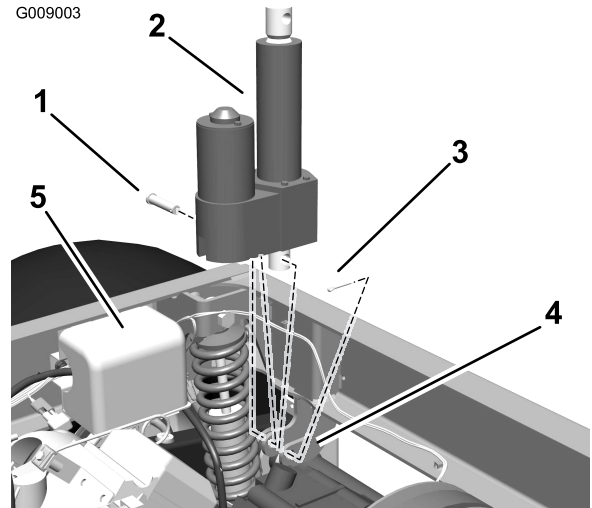


図 4

1. アクチュエータ
2. 昇降シリンダ・サポート
3. クレビスピン
4. ヘアピンコッター

3

スイッチを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	スイッチ
1	サーマルヒューズ(15 A)
1	クレビス・ピン (3-1/2 インチ)
1	ヘアピン・コッター

手順

1. ダッシュボードの右側についている打ち抜きプラグを打ち抜いて外す (図 5)。

注 もし、この穴が既に使用されている場合には、その穴から13 mm 横にずれた位置に 21 mm x 35 mm の四角い穴を新たに開ける。穴を開ける際に、ダッシュボードの裏側に配置されている機器を傷つけないように注意すること。

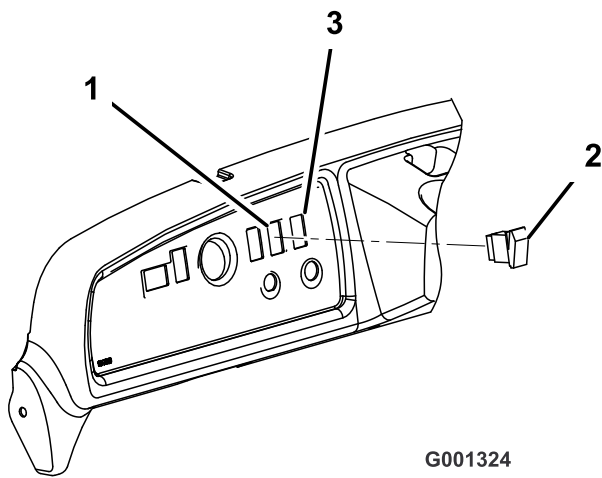


図 5

1. プラグでふさがれている穴
2. スイッチ
3. 新しい穴を作る(必要なら)

8. ロッドをブラケットに固定する； クレビスピン (3-1/2 インチ) とヘアピンコッターを使用する。
9. プロップ・ロッド (支え棒) を荷台の裏側に固定しているナットとブラケットを外す。ブラケット取り外し後、ナットは再びキャリッジ・ボルトに取り付けて、キャリッジ・ボルトで穴をふさぐ。
10. 支持棒を前にずらすと、フレームのブラケットから支持棒が外れる。支持棒は将来に備えて保管する。

注 将来、電動昇降装置を外した場合には、既存の締結具とプロップロッドブラケットを使って支持棒を再度取り付けてください。

2. ダッシュボードのハーネス用コネクタにスイッチをはめ込む。スイッチをダッシュボードにはめこむ (図 5)。
3. ヒューズブロックの開いている場所に新しいサーマルヒューズ (15 A) を取り付ける。
4. アクチュエータのハーネスを、車両のハーネスのコネクタ (車両のフレームの右後部内側にある電気コントロールカバーのわきにある) に接続する。
5. バッテリーを取り付け、ケーブルを接続する。
6. スイッチを上押し上げて、アクチュエータ・ロッドを上側昇降ブラケットの取り付け穴に整列させる。
7. 上昇降ブラケットについている 2 組の穴を探し出す (図 6)。ガソリン・ディーゼル車両用の穴を選択すること。

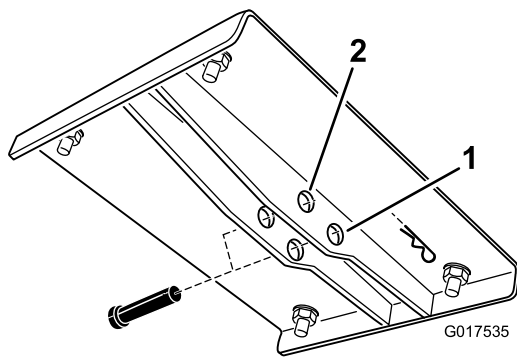


図 6

1. ガソリン車、ディーゼル車用の穴
2. 電動車用の穴

運転操作

重要 ラチェット音（カチカチ）が聞こえたら、荷台は完全に上昇（下降）しています。それ以上スイッチを押し続けしないでください。

荷台を上昇させる

▲ 警告

荷台を上昇させたままで走行すると転倒の危険が増大する。荷台を上昇させたままで車両の運転を長時間続けると、荷台が破損する可能性がある。

- ・ 運転する時は必ず荷台を下げておくこと。
- ・ ダンプ操作をした後は必ず荷台を下げる習慣をつけること。

1. キーを ON 位置に回す。
2. スイッチ上部を押すと荷台が上昇する。

荷台を降下させる

▲ 注意

荷台は相当の重さになる。万一手などを挟まれると大けがをする。

荷台を降ろすときには、荷台に手やその他の部分を近づけないよう十分注意すること。

スイッチ下部を押すと荷台が降下する。

重要 ラチェット音（カチカチ）が聞こえたら、荷台は完全に上昇（下降）しています。それ以上スイッチを押し続けしないでください。

注 荷台が完全に降下した後、およびアクチュエータのクラッチが入る前には、荷台がごくわずかに変形する場合があります。ラチェット音が聞こえたら、スイッチから手をはなしてください。

ワークマン MDX-D のエアクリーナの整備

以下の手順で、エアクリーナからフィルタエレメントを取り外す：

- ・ アクチュエータロッドを上側昇降ブラケットに留め付けているヘアピンコッターとクレビスピンを取り外す。
- ・ ボックス（荷台）を一番高い位置に上げる。

- ・ アクチュエータを前に倒す。
- ・ エアクリーナを取り外し、必要に応じて整備を行う。
- ・ エアクリーナを取りつける。

▲ 警告

荷台は相当の重さになる。万一手などを挟まれると大けがをする。

荷台を降ろすときには、荷台に手やその他の部分を近づけないよう十分注意すること。

メモ:

メモ:



Count on it.